令和8年度外部評価　事業評価シート

No	3	事業名	安祥閣施設管理事業

所属	生涯学習部生涯学習課施設管理係	事業開始年度	昭和54年度
事業内容	安祥閣の管理運営を指定管理者へ委託し、施設の適正な維持管理を実施します。		
目的	安祥閣は、市民の文化および教養の向上並びに福祉の増進を図ることを目的としています。		
根拠法令等	安祥閣の設置及び管理に関する条例		
総合計画	１１生涯学習　市民の主体的な学びを支える環境づくり		
関連事業			
事業の必要性	安祥閣は、茶道などの文化及び教養の向上を図ることを目的とした、茶室、和室及び日本庭園を有する市内唯一の公共施設です。日本の伝統文化である茶道等を継承していくためには、施設を適正に維持管理していく必要があります。		

【実施状況】どのような活動をしてきましたか

活動実績	平成１８年度より指定管理者制度を採用しています。 和室限定の部屋使用ということもあり、お茶会などの利用はあるものの、利用率は伸び悩んでいる状況でしたが、令和６年度からは新たな指定管理者により、集客力のある事業が実施されており、直近では利用率が改善しています。 また、施設開館から４５年以上が経過し老朽化する中で、個別施設計画に基づく大規模改修工事を検討する必要があります。

【事業費】どのくらい市税等の一般財源が投入されていますか。どれくらい費用が掛かっていますか。

	No	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業費等の推移	①	事業費(決算額)　(千円)	8,679	10,651	9,476
	事業費内訳	補助金	−	−	−
		需用費	1,587	1,983	690
		役務費	8	8	8
		委託料	6,750	8,300	8,300
		使用料及び賃借料	334	360	369
		備品購入費			109
	②	人件費(従事職員数×平均人件費※R5:6,600千円,R6年度:6,700千円,R7:7,300千円	3,300	4,020	3,650
		従事職員数　(人)	0.5	0.6	0.5
	③	総事業費(①+②)　(千円)	11,979	14,671	13,126
財源内訳		一般財源　(千円)	11,979	14,671	13,126
		特定財源(　　など)　(千円)	−	−	−
		財源合計　(千円)	11,979	14,671	13,126

【活動指標】成果を達成するために必要な活動とその量

	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)	令和9年度(目標)
茶室の利用回数	85回	92回	110回
茶室の利用率	13.9%	15.0%	18.0%

【成果指標】この事業が目指す姿と目標値

	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)	令和9年度(目標)
安祥閣全体の利用回数	1,182回	1,211回	1,285回
安祥閣全体の利用率	32.2%	33.0%	35.0%

【課題】成果を達成する上で、課題・障壁となっているものは何ですか

	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
課題	安祥閣の主な利用者は、茶道に関連する団体で、年間の施設利用料収入は、約１００万円で、約１，０００万円が歳出超過となっています。 また、市内には、安祥閣以外にも茶室機能の一部を備えた和室を有する公共施設が複数存在します。 安祥閣は昭和５４年の開館から４５年以上が経過しており、老朽化やバリアフリー等に対応し、施設を維持していくためには、２億円を超える多額の改修費用が必要になります。

【論点】課題・障壁を取り除くための取組内容

外部評価での論点	安祥閣の今後の方向性については、現在把握している施設の不具合や構造上の課題、今後の維持管理コスト及び本市の財政状況等を総合的に勘案し、施設の改修、建て替え、あるいは統廃合も含め、幅広い選択肢について検証したところ、費用対効果の視点から市としては安祥閣をやむを得ず廃止することも含めて検討しています。そこで、安祥閣を廃止することの是非と茶文化を継承していくための事業を他の公共施設等で実施していくことについて、市民目線でのご意見をいただきたいです。

令和8年度外部評価　事業評価シート

【参考比較】

法律や政令等により、市の裁量では、改善、廃止など変更ができない内容がある場合は、簡潔に記載してください。	

他市の 実施状況等	【茶室等の近隣市の状況】 碧南市：涛々庵　茶室4畳、和室16畳　木造平屋建て 　日本庭園を配した市民茶室涛々庵は、涛々庵の名に因んだ欄間・唐紙の広間、草庵風の茶室の小間などがあり、本格的な茶会が開かれている。 岡崎市：葵松庵　茶室4.5畳、広間8畳・6畳　木造平屋建て 　四季折々に表情を変える岡崎城公園の景色と日本庭園にて一服を堪能できる。 岡崎市：甲山閣　和室62畳　木造２階建て 　8畳から 15畳までの和室が7室ある。茶会、各種会合に利用できる。 刈谷市：佐喜知庵　茶室4.5畳、和室30畳　木造平屋建て 　茶会等茶道用に利用可。お点前のできる10畳の和室3室、4畳半の茶室がある。 豊田市：豊祥庵　茶室　木造平屋建て 　木造数寄屋造りで、「祥」には幸いに通じ、幸多かれの願いが込められる。 豊田市：一歩亭　和室20畳　木造平屋建て 　木造数寄屋造り 323.70m2 「どんなこともまず一歩の歩みから」という思い。 西尾市：伝想庵　茶室4.5畳、和室10畳　木造平屋建て 　広い日本庭園の一角にあり、「抹茶の里・西尾」を代表する市民憩いの茶室。 西尾市：旧近衛邸　茶室6畳、次の間3畳　木造平屋建て 　京都の公家・近衛家の邸宅。書院と茶室からなっている。 知立市：知心庵　和室30畳　木造平屋建て 　パティオ池鯉鮒内。日本の伝統文化「茶道」の稽古、お茶会に適している。 知立市：燕子庵　茶室4.5畳、水屋8.5畳、広間10畳　木造平屋建て 　八橋かきつばた園の茶室。※茶道での利用に限る。茶道具等は利用者が持参。 高浜市：春日庵　茶室4.5畳、書院21.5畳　木造平屋建て 　平成4年3月に茶室として開館した大山緑地に隣接した元尼寺だった建物。 みよし市：大慈庵　小間三畳台目　木造平屋建て 　みよし市ふるさと会館の純和風庭園「鶴駕苑」内にある本格茶室

経年の状況 （事業開始の経緯や改善の経緯）	

●昭和５３年築造、昭和５４年開館
㈱マキタ電機製作所相談役後藤十次郎氏からの私財１億円の寄付により建設
「市民の文化的な集会施設として建設」
設管条例・・・市民の文化及び教養の向上並びに福祉の増進を図るため
●平成１８年度～
直営から変更し、指定管理者制度を導入
●平成２６年度～
夜間の貸館を廃止
●令和６年度
※現指定管理開始（Ｒ６～Ｒ１０）

＜利用率＞

	茶室	茶室控室	楓の間	欅の間	桜の間	松の間	利用率（全部屋）
平成26年	**3.9%**	8.3%	**45.3%**	22.5%	27.9%	27.3%	**22.5%**
平成27年	**5.5%**	10.9%	**47.2%**	23.9%	25.3%	25.2%	**23.0%**
平成28年	**3.6%**	8.0%	**47.2%**	20.9%	21.2%	16.5%	**19.6%**
平成29年	**6.9%**	9.2%	**50.3%**	27.0%	26.3%	21.2%	**23.5%**
平成30年	**4.6%**	7.5%	**50.7%**	29.4%	25.7%	31.5%	**24.9%**
令和元年	**4.6%**	6.8%	**51.3%**	30.9%	26.2%	32.6%	**25.4%**
令和2年	**1.1%**	2.9%	**41.4%**	21.5%	15.7%	13.8%	**16.1%**
令和3年	**1.3%**	1.6%	**45.3%**	28.3%	22.2%	22.1%	**20.1%**
令和4年	**6.7%**	8.3%	**46.7%**	26.1%	26.6%	19.0%	**22.2%**
令和5年	**7.8%**	10.6%	**49.3%**	29.2%	34.4%	26.1%	**26.2%**
令和6年	**11.7%**	15.8%	**51.8%**	32.4%	41.8%	31.6%	**30.8%**
令和7年	**13.9%**	17.0%	**50.3%**	35.6%	42.8%	33.5%	**32.2%**

＜主な工事履歴＞

５．工事履歴

（１） 建築

年度	工事名称	工事内容	契約金額
平成８年	可動間仕切取替工事	２階大広間可動間仕切取替	2,884,000 円
平成 18 年	トイレ改修工事	1,2 階トイレの洋式化及び手摺設置	1,892,100 円
平成 22 年	内外装改修工事	◆外壁 上裏改修、高圧洗浄、クラック補修、リシン吹付、軒樋取替 ◆内装 共用部（床カーペット及び壁クロス張替、天井クロス貼替え及びリシン吹付）	4,725,000 円
平成 22 年	カーテン工事	カーテン取替	1,673,700 円
小計－①			11,174,800 円

（２） 設備

年度	工事名称	工事内容	契約金額
昭和 56 年	空調機増設工事	チラー（１台）及びファンコイル（３台《和室、ホール、厨房》）増設	不明
平成６年	CATV 接続工事	CATV へ切替	257,500 円
平成７年	空調機取替工事	チラー（２台）の取替	6,077,000 円
平成 22 年	空調設備更新工事	中央熱源（チラー）をビル用マルチに変更（室内機共）	19,530,000 円
小計－②			25,864,500 円

今までに費やした費用は、 ① ＋ ② ＝ 建築 ＋ 設備
＝ 11,174,800 円＋25,864,500 円
＝ **37,039,300 円**